

2020年度拠点間連携共同研究【重点推進研究】採択課題一覧

課題番号・ カテゴリー名	提案内容のタイトル	研究代表者		代表者	報告書
		氏名	所属機関		
2020-K-1-1 総括型	南海トラフ巨大地震の震源像と短周期波動伝播特性における研究	宮澤 理稔	京都大学 防災研究所	市村 強 (東大・地震研) 松島 信一 (京大・防災研)	報告書
	地盤物性の不確実性を考慮した巨大地震時の地盤災害リスク評価	上田 恭平	京都大学 防災研究所		
	シナリオ・手法の組み合わせにより変化する災害リスクの理解支援システムの開発・拡大	牧 紀男	京都大学 防災研究所		
	実験・観測データベースを用いた被害評価の精緻化	楠 浩一	東京大学 地震研究所		
	系統的な地震リスク評価プラットフォームの高度化	松島 信一	京都大学 防災研究所		
	巨大地震のリスク評価にむけた地殻構造の影響および強震動評価とその高度化	飯高 隆	東京大学 地震研究所		
	巨大地震リスク評価のための計算科学・計算機科学的な観点からの検討	市村 強	東京大学 地震研究所		
	南海トラフにおける人工震源構造調査と自然地震観測から求められる地殻内地震波速度・減衰構造の統合的編集と精度の検討	望月 公廣	東京大学 地震研究所		
2020-K-1-2-1 特定型(その1)	シナリオ・手法の組み合わせにより変化する災害リスクの理解支援システムの開発・拡大	牧 紀男	京都大学 防災研究所	牧 紀男 (京大・防災研)	報告書
2020-K-1-2-2 特定型(その2)	スペクトル分離手法による海域の伝播経路特性と観測点サイト特性の把握	川瀬 博	京都大学 防災研究所	望月 公廣 (東大・地震研)	報告書
	西南日本の海陸境界部における地震波減衰構造の推定	中島 淳一	東京工業大学 理学院		
	定常的地震活動の震源および地震波速度構造の精度向上による地震波動場推定の高度化	望月 公廣	東京大学 地震研究所		
2020-K-1-2-4 特定型(その4)	巨大地震による斜面災害発生個所の事前予測方法の検討	齊藤 隆志	京都大学 防災研究所	齊藤 隆志 (京大・防災研)	報告書

2020年度拠点間連携共同研究(一般課題型研究)採択課題一覧

課題番号	研究課題名	研究代表者		報告書
		氏名	所属	
2019-K-01	不均質な断層すべり分布を考慮した津波の確率論的予測と不確実性の評価	佐竹 健治	東京大学 地震研究所	報告書
2019-K-02	強震観測点におけるサイト特性評価手法の開発に関する多国間共同研究 Multi-national joint-research on the development of the evaluation scheme for site characteristics at strong motion observation sites	川瀬 博	京都大学 防災研究所	報告書
2019-K-04	強震動のブラインド予測のための共用地盤モデルの構築に関する研究	山中 浩明	東京工業大学 環境・社会理工学院	報告書
2019-K-05	火山砕屑物からなる斜面の崩壊に対する地震とその前後の降雨の影響評価	渦岡 良介	京都大学 防災研究所	報告書
2019-K-06	活断層における地殻変動に伴う盆地形成過程から推定される盆地端部での基盤構造を考慮した地震動増幅特性に関する研究	松島 信一	京都大学 防災研究所	報告書
2019-K-07	建物の応答を考慮した高精度地震情報配信手法の開発	倉田 真宏	京都大学 防災研究所	報告書
2020-K-01	テフラ堆積域における地震動に伴う斜面崩壊の発生場と規模の予測	松四 雄騎	京都大学 防災研究所	報告書
2020-K-02	桜島大規模火山噴火を対象とした事前避難を実現するためのリスクコミュニケーション方法に関する実践的研究	大西 正光	京都大学 防災研究所	報告書
2020-K-03	地震発生 of 切迫性を伝える災害情報モデルとシナリオの構築 ～北海道胆振東部地震からみえた新たな課題としての複合連鎖問題の解釈を通して～	岡田 成幸	北海道大学 広域複合災害研究センター	報告書
2020-K-04	地震シナリオの不確実性を考慮した津波被害の確率論的評価	浅井 光輝	九州大学 大学院工学研究院	報告書
2020-K-05	文化財等の所在情報と災害情報の重ね合わせによる文化財等災害予測マップの構築と活用	蝦名 裕一	東北大学 災害科学国際研究所	報告書

研究期間延長課題一覧

課題番号	研究課題名	研究代表者		報告書
		氏名	所属	
2019-K-09	訪日外国人旅行者に対する地震・火山に関する情報提供と風評被害対策に関する事例分析 -2018年胆振東部地震、2018年大阪府北部地震、2018年草津白根噴火、2015年箱根山噴火を対象として-	秦 康範	山梨大学 大学院総合研究部工学域	報告書